

平成 27 年度 施策評価シート

	作成日	H28.11.30
基本姿勢	3	にぎわいを創る「交流のしま」
政 策	1	魅せる観光交流のしまづくり
基本方針	観光客の動向を的確に捉え、本町の魅力を積極的に発信し、「また上五島を訪れたい」と思っただけのような観光メニューの充実を図ることで観光客の満足度を高めていきます。 また、地域を越えた様々な交流を創出し、それに対応する受け入れ体制や環境の整備を進めていくとともに国際的視野を持った人材の育成と国際交流の推進に取り組みます。	

基本施策	3-1-①	にぎわいを生む観光の振興	
主管課名	観光工商課	所属長名	安 永 佳 秀
関係課名	文化財課		
	基本施策の評価		
	○歴史・産業と豊富な観光資源を連携させ、体験型、学び型、ふれあい型の体験観光の展開 ■平成27年度の実施概要 ・町と観光物産協会が連携して、探訪～四季を味わう上五島事業において、四季折々の島の歴史や観光資源等をいかした観光イベント等に取り組んでいる。（四季折々の観光イベント：「ほたるのふるさと相河川まつり」「蛤浜で遊ぼデー&白砂の芸術祭」「上五島教会めぐりウォーク&クルーズ」「チャーチウィークin教会コンサート」「五島列島ノルディックウォーク」） ■評価（問題点とその要因） ・町と観光物産協会が連携して、探訪～四季を味わう上五島事業において、四季折々の島の歴史や観光資源等をいかした観光イベントに取り組んでおり、上五島教会めぐりウォーク&クルーズにおいては、上五島ふるさとガイドの会のご案内と、地元の方との触れ合い、声援など、島ぐるみのおもてなしが好評をいただいております。		
	○特産品や郷土料理等の観光資源としての活用、伝統的な食の復活や改良、椿を観光資源としての活用 ■平成27年度の実施概要 ・観光物産協会を窓口、地元漁協と連携しながら団体観光客向けに「漁師の朝飯」に取り組んでいる。椿を観光資源として活用する観光イベントとして、椿ロード・ノルディック・ウォークを椿が咲き誇る3月上旬に開催している。（参加者数 102人うち島外45人） ■評価（問題点とその要因） ・「漁師の朝飯」については、来島された多くの団体ツアーのお客様に大変好評をいただいている。椿ロード・ノルディック・ウォークの開催については、閑散期対策として効果的であるが、冬期であり時化など天候に左右される。		
	■今後の取組方針 ・「漁師の朝飯」については、多くの団体ツアーのお客様に大変好評であることから、今後も更に島らしさを味わうことができる観光資源の活用について観光物産協会、地元漁協など関係団体と連携して取り組んでいく。椿ロード・ノルディック・ウォークは、閑散期対策として効果的であるため、コース内容などを検討しながら引き続き実施していく。		

○観光ガイド等の観光人材育成強化、町民への意識啓発による、おもてなしの観光地づくり

■平成27年度の取組概要

・満足度の高いおもてなしで観光客をご案内する上五島ふるさとガイドの会の役割は大きく、研修等に対して支援を行っている。また、県五島振興局を事務局に、五島市で連携して取り組んでいる五島列島おもてなし協議会の事業で、観光関係者や宿泊施設を対象とした研修会を開催した。

■評価（問題点とその要因）

・上五島ふるさとガイドの会の役割は大きく、ガイド力向上のための研修等の取り組みは重要であるが、仕事に従事しているガイドが多いため、平日に対応できるガイド人数に限りがある。また、おもてなしの心で観光客を受け入れ、リピーターを増やしていくためには、宿泊施設など観光関係者を対象とした研修会の開催を継続していく必要がある。

■今後の取組方針

・上五島ふるさとガイドの会については、平日に対応できるガイド人数に限りがあるため、ガイド力のレベルアップをはじめ、新規ガイド加入も含めた研修、講習会等に対して、今後も引き続き支援を行っていく。また、直接観光客に接する宿泊施設など観光関係者を対象とした研修会を引き続き実施し、おもてなしの観光地づくりに取り組んでいく。

○歴史・文化・自然などの魅力を活かした新たな観光ルートや観光商品の創出、事業者と連携した観光産業化の推進

■平成27年度の取組概要

・国指定重要無形民俗文化財「五島神楽」や、地元漁協と連携しながら取り組んでいる「漁師の朝飯」は、団体ツアーに好評で本町の魅力ある観光素材の一つとして定着してきている。また、県、五島市と連携して、世界遺産候補の教会群の構成資産が点在する上五島と下五島を海上タクシーで周遊する個人対応型着地型旅行商品「五島列島キリシタンクルーズ」の運航に取り組んでいる。

■評価（問題点とその要因）

・観光素材の一つとして定着してきた「五島神楽」「漁師の朝飯」については、多くの観光客に魅力を伝えるため今後も積極的に情報発信していく必要がある。また、「五島列島キリシタンクルーズ」の実施についても好評であり、参加者が年々増加している状況である。

■今後の取組方針

・「五島神楽」「漁師の朝飯」のような観光素材の一つとして定着できるものを、関係団体等と協議をしながら新たな観光ルートや観光商品の創出にむけ取り組んでいく。また、「五島列島キリシタンクルーズ」のように、広域的に周遊できる観光ルートの開発についても、県、関係自治体等と協議しながら構築に向け取り組んでいく。

○「長崎EV&ITSプロジェクト」のシステム等を活用した未来型ドライブ観光推進と運営充実

■平成27年度の取組概要

・世界遺産登録に向けた受入整備として、上五島パーク&ライドの駐車場として利用している上五島空港に、急速充電器1基を整備しました。

■評価（問題点とその要因）

・急速充電器等機器や新上五島町EV・ITS実配備促進協議会所有のEV車両が老朽化していく状況において、今後の対応が課題である。

■今後の取組方針

・急速充電器等機器や新上五島町EV・ITS実配備促進協議会所有のEV車両の維持管理に努め、「長崎EV&ITSプロジェクト」を活用した観光振興を図っていく。

1次評価

○観光動向の的確な分析、多様な媒体の有効活用による効果的・積極的な情報発信及び観光客誘致

■平成27年度の取組概要

・県観光関連部署のプレスツアーや、テレビや雑誌の取材に積極的に協力し、情報発信（無料）を行った。また、探訪～四季を味わう上五島事業で、国内旅行会社やクルーズ船旅行会社、韓国の旅行会社などを訪問し、積極的な観光客誘客に取り組んだ。

■評価（問題点とその要因）

・県観光関連部署のプレスツアーや、テレビや雑誌の取材に積極的に協力し、本町の魅力を無料で発信することができた。また、国内旅行会社やクルーズ船旅行会社、韓国の旅行会社などを訪問し、積極的に観光客の誘客に取り組み、旅行商品等の造成につながった。

■今後の取組方針

・今後も県と連携を図りながら、テレビ及び雑誌の取材に積極的に協力し情報発信に努めるとともに、国内旅行会社やクルーズ船旅行会社、韓国の旅行会社などを訪問し、積極的な観光客誘客に取り組んでいく。また、各種アンケート等を参考にしながら、町ホームページ及び町観光物産協会ホームページやフェイスブックなどにより、効果的・積極的な情報発信による観光客誘客に努めていく。

○タクシー・レンタカーを利用した観光プランの再構築、民間事業者と連携した島内交通システムの充実、観光客の様々な要求に応えられる体制整備

■平成27年度の取組概要

・二次交通アクセス課題に対する個人観光客の受入対応策として、町観光物産協会が旅行業を取得して、教会めぐり、食（五島うどん地獄炊き、海鮮丼など）、体験ができる、個人観光客向け着地型旅行商品「五島列島キリシタン物語～上五島編～」を平成27年8月より企画実施した。

■評価（問題点とその要因）

・「五島列島キリシタン物語～上五島編～」については、平成27年8月より実施したこともあり、今後はコースの検討や情報発信など充実を図っていく必要がある。

■今後の取組方針

・「五島列島キリシタン物語～上五島編～」については、更なる満足度向上を目指したコースの検討を行うとともに、積極的な情報発信に努めていく。また、世界遺産登録に向け観光客の増加が予想されるため、タクシー協会やレンタカー会社などと連携を図り、充実した観光プランの体制整備に取り組んでいく。

○外国語表示を取り入れるなど案内機能の充実、より多くの観光客を受け入れるための既存宿泊施設等の有効活用や後継者の育成など受入体制づくりの促進

■平成27年度の取組概要

・国内外からの交流人口の拡大を図り、より多くの観光客を受け入れるため、町内の宿泊施設受入環境の充実に向け、宿泊施設受入体制支援事業補助金をH28.3に創設した。

■評価（問題点とその要因）

・宿泊施設受入体制支援事業補助金により、新築、増改築、改修工事、無料公衆無線LAN環境の整備、外国語表記整備等の支援ができるようになったが、制度を活用していくための啓発活動が必要である。

■今後の取組方針

・町ホームページ、既存宿泊施設へ情報発信を行い、宿泊施設受入体制支援事業の活用を図り、受入体制づくりを促進していく。

2次評価

個人のライフスタイルの変化に伴う観光ニーズや旅行形態の変化など、観光を取り巻く環境に適切に対応していくためには、従来型の観光資源とは異なる地域の人々との交流を通じて、その地域特有の歴史や文化、自然などを体験し、楽しむ朝・昼・夕・夜のプログラムをつくりあげ、着地型観光の充実を図り、初回訪問者の獲得とリピーター獲得のため、質の高い情報発信の強化、期待を裏切らない仕組みづくりなど、観光関係事業者やガイドの会、地域のあらゆる産業と連携し、付加価値を高めながら一体となって取り組みを進めていくこと。

基本施策	3-1-②	国際交流・地域間交流の推進	
主管課名	観光商工課	所属長名	安 永 佳 秀
関係課名	総合政策課、学校教育課		
1 次評価	基本施策の評価		
	○修学旅行誘致や離島体験、合宿誘致、スポーツ交流・文化交流などによる交流活動推進		
	<p>■平成27年度の取組概要</p> <p>・本土からの高い船賃が阻害要因となり旅行費用が高額となる島外からの修学旅行や文化スポーツ合宿等に対する助成措置として、しまのキャン体験事業補助金制度を実施し、往復の運賃、宿泊費、体験学習料の一部を助成し、交流人口の拡大及び地域経済の活性化を図った。（島外団体誘致推進事業：40団体、宿泊者実数1,189、延宿泊人数2,246）</p> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <p>・しまのキャン体験事業補助金制度を活用し、文化スポーツ合宿等で多くの学生に本町に1,189人の学生（宿泊者）に来島していただいた。修学旅行については、島特有の海上航路や宿泊施設等に課題があり、誘客しづらい状況である。</p> <p>■今後の取組方針</p> <p>・しまのキャン体験事業補助金制度による文化スポーツ合宿等については誘致活動にかなり効果的であり、今後も誘致活動を積極的に展開していく。また、体験メニュー等の新たな観光資源の開発などに努めていくとともに、修学旅行の誘致に向け検討していく。</p>		
	○各地域や団体等の育成・支援、相互交流体制づくりの促進		
<p>■平成27年度の取組概要</p> <p>・探訪～四季を味わう上五島事業（ウォーク&クルーズ、相河川まつり、蛤浜で遊ぼデー等）やクルーズ客船上五島寄港において、観光物産協会をはじめ、上五島ふるさとガイドの会、旅館業組合、タクシー協会、バス事業者など観光関係団体と連携を図りながら、また、つばき木工房、商工会青年部、上五島石油備蓄など地元事業者や地域住民の方にもご協力をいただきながら、観光客の受け入れに取り組んでいる。</p> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <p>・様々な事業を行い、観光客の受入体制の充実を図るためには、観光関係団体、地元事業者、地域住民の方などと連携して一体となった取り組みが今後必要である。</p> <p>■今後の取組方針</p> <p>・今後、世界遺産登録に向け観光客の増加が予想されるため、観光物産協会をはじめ、観光関係団体と連携を図りながら、また、地域住民の方にもご協力をいただきながら、更なる観光客の受入体制構築に向け育成、支援に努めていく。</p>			
○大学との連携などにより多様な交流事業の推進、離島の特性を活かす交流や出身者、ゆかりのある方々との交流ネットワークの形成・充実			
<p>■平成27年度の取組概要</p> <p>・本町にゆかりがあり、町外に居住する方で、本町の観光振興に寄与すると思われる方を観光物産大使と委嘱し、町の観光資源や魅力を様々な機会を通して発信していただいております。観光物産大使名刺や広報を含めた観光情報を送付している。</p> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <p>・これまで、広報紙や町の最新パンフレット等を提供し情報発信をお願いしてきましたが、大使の活動の充実を図っていくため、情報発信や最寄りで開催されるイベント・キャンペーンなどでの応援等について、役割の明確化について検討していく必要がある。</p> <p>■今後の取組方針</p> <p>・観光物産大使として活躍されている方については、今後も引き続き、交流ネットワークの形成・充実を図っていく。また、本町の魅力を積極的に全国でPRしていただける町出身者や、産業、文化、芸術、スポーツ及び教育等の振興を通じ、本町とゆかりのある方など、観光物産大使として活動してもらえる人材の確保に向けて検討していく。</p>			

	<p>○外国人来訪者受入体制の整備（標識の外国語表示や外国人来訪者に対応できるボランティアの登録）</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 来訪者に対応するため、島内に設置している四カ国語版の観光案内板や誘導板は、老朽化により破損しているものについて修繕を行った。教会や観光スポットに設置して四カ国語で観光情報の説明を見ることができるエアサインージや各港ターミナルに設置したデジタルサインージの維持管理を行った。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> 四カ国語版の観光案内板や誘導板については、老朽化しているものが増えてきているため計画的な修繕が必要である。また、今後、多言語による観光パンフレット製作を検討する必要がある。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 四カ国語版の観光案内板や誘導板については、計画的な修繕を行っていくとともに、多言語による観光パンフレット等については、離島活性化交付金を活用して製作していく。
	<p>○外国語講座や外国異文化講座の充実などによる国際的視野に立つ人材育成</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客受入体制整備事業において、インバウンド講演会を開催し、外国からの観光客に対し、受入体制の整備と誘客活動を強化を図った。また、韓国語通訳・翻訳員による韓国語講座を開催し、国際的視野を持った人材の育成を図り、韓国のことを身近に感じていただき、日本と韓国との文化の違いなどを知っていただいたうえで、受け入れができるように取り組んでいる。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客受入体制整備事業により、本年度は過去最高の外国人観光客に来島していただくことができた。今後は、島内観光事業者と更に連携を図りながら、外国人観光客の受入体制の強化に向け、人材の育成に努めていく必要がある。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後、世界遺産登録に向け外国人観光客の増加が予想されるため、引き続き、外国人観光客受入体制整備事業による講座等や国語通訳・翻訳員による韓国語講座を継続して行い、受入体制の整備、強化を図っていく。
2次評価	<p>文化・スポーツなど地域を越えた様々な交流を創出し、それに対応する受入体制の強化、充実に努めること。また、世界遺産登録に向け、今後さらに増加が見込まれる外国人観光客に対して、不自由なく滞在を楽しめる受入体制の整備など、県、関係団体等と連携して取り組みを進めていくこと。</p>

成果指標等の達成状況

指標名		基準値	H27	H28	H29	H30	H31
観光客宿泊数	目標	-	-				90,000人
	実績	78,854人	119,637人	-	-	-	-
	達成率	-	100% (100%)	-	-	-	-
観光消費額	目標	-	-				4,087 百万円
	実績	3,406 百万円	4,741 百万円	-	-	-	-
	達成率	-	100% (100%)	-	-	-	-
離島体験等交流者数	目標	-	-	-	-	-	4,000人
	実績	3,266人	3,411人	-	-	-	-
	達成率	-	19.8% (99.0%)	-	-	-	-

施策事業の進捗状況

3-1-① にぎわいを生む観光の振興

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度	
1	(事業名) EV・ITS配備促進協議会運営補助事業 【観光商工課】 (事業目的) ・「長崎EV&ITSコンソーシアム」と連携し、協議会が行う低炭素社会実現のための電気自動車の導入事業、ITS（高度道路交通システム）と連動したドライブ観光システムの導入事業等を支援し、本町の観光振興、地域活性化及び教会群の世界遺産登録事業を推進する。 (事業概要) 町EV・ITS実配備促進協議会に対し補助金を支出。 EV車 58台 貸出 急速充電器維持管理 8ヶ所 13基	実施年度	平成21年度～		
		成果指標	電気自動車所有台数		
		目標値	58台		
		実績値	58台		
		達成率	100%		
		決算（見込）額	14,026千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	町EV・ITS実配備促進協議会所有の電気自動車を減らすことなく運用するため、電気自動車所有台数を成果指標とした。		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績)	メーカーと連携し、EV車電池を交換(レンタカー使用車両22台)、急速充電器修繕整備(2台)を行った。	(取組実績)
			(成果・課題等)	電池交換により航続距離増、利用者の利便性向上が図られた。車両の劣化、急速充電機器類の劣化が進行しており、車両の返却、設備維持費コストの増が見込まれる。	(成果・課題等)
2	(事業名) ながさき巡礼受入体制推進事業 【観光商工課】 (事業目的) 今後増加が予想される巡礼客、各メディア、教会に関する問い合わせ対応など「世界遺産登録」に向けた受入体制を構築する。 (事業概要) 有川港ターミナルに長崎巡礼センター新上五島ステーションを設置し、専門知識を有する常勤職員1名を配置。世界遺産登録を見据えた観光客受入体制の充実を図る。	実施年度	平成25年度～		
		成果指標	ステーション利用者数		
		目標値	1,000人		
		実績値	1,021人		
		達成率	101%		
		決算（見込）額	1,412千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	世界遺産登録を見据えた観光客受入体制の充実を図るため、ステーション利用者数を成果指標とした。利用者計画（1,000人）を目標値として設定した。		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績)	ステーション運営実績 ・巡礼ガイド実績903名 ・ガイド手配78件 ・ミサ手配34件 ・取材対応6件	(取組実績)
			(成果・課題等)	教会・巡礼という専門的知識・対応を要する事業であり、実績数からも十分な成果を得られた。課題としては、職員1名体制では、ガイド対応時にステーション事務所での対応が出来ないため、教会・巡礼に関する常設案内所としての機能が十分でないことや、関連資産の素材整理、情報発信等の業務が挙げられる。	(成果・課題等)

3-1-① にぎわいを生む観光の振興（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
3	<p>(事業名)</p> <p>「探訪～四季を味わう上五島」補助事業</p> <p>【観光商工課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>新上五島町の自然、歴史、文化を活かしたイベントを実施することで地域に賑わいを生み、かつイベントの魅力を情報発信することによって、交流人口の拡大を目的にしている。</p> <p>(事業概要)</p> <p>探訪～四季を味わう上五島実行委員会に対して補助金を交付している。実行委員会では、四季折々のイベント「ほたるのふるさと相河川まつり」「蛤浜で遊ぼデー＆白砂の芸術祭」「上五島教会めぐりウオーク＆クルーズ」「チャーチウィークin教会コンサート」「五島列島ノルディックウオーク」の開催や、国内、国外（特に韓国）の旅行会社やメディア等への情報発信を行っている。また、クルーズ船や外国人観光客の受入体制の強化や、新しい観光素材や企画等への支援を行っている。</p>	実施年度	平成18年度～	
		成果指標	観光客延数（年間）	
		目標値	287,000人	
		実績値	273,545人	
		達成率	95.3%	
		決算（見込）額	13,033千円	
		当該年度執行率	89%	
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、本事業を含む観光振興事業を実施することで、観光客延数【年間】を242,078人（H26）から5年間で287,000人にすることを重要業績評価指標（KPI）として設定している。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>四季折々の観光イベント開催 旅行会社等への誘致活動 クルーズ客船誘致事業</p> <p>などを実施</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>補助金を交付し各種事業を展開したことで、各観光イベントの集客やそれに伴う情報発信の効果で観光客が増えた。また、クルーズ客船が過去最高の6回の寄港に繋がった。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		
4	<p>(事業名)</p> <p>おもてなしのしま五島プロジェクト事業</p> <p>【観光商工課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>世界遺産登録で五島を訪れる観光客が急増することを見込んでいる。その機会を逸することなく、五島の魅力を伝えることができる着地型観光商品の造成や、新しい観光素材の開発、宿従業員、観光協会等職員の資質向上を目指した事業を実施することで、町全体のおもてなしの向上を目的としている。</p> <p>(事業概要)</p> <p>五島列島おもてなし協議会へ負担金を支出している。五島列島おもてなし協議会は長崎県五島振興局を事務局に、五島市、小賀値町、新上五島町で連携して、下記3つの事業を柱として実施している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 観光関係者のスキルアップ・意識改革 2. 二次交通の整備と着地型旅行商品づくり 3. 観光客満足度調査と情報発信 	実施年度	平成27年度～	
		成果指標	観光客延数（年間）	
		目標値	287,000人	
		実績値	273,545人	
		達成率	95.3%	
		決算（見込）額	4,128千円	
		当該年度執行率	75%	
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、本事業を含む観光振興事業を実施することで、観光客延数【年間】を242,078人（H26）から5年間で287,000人にすることを重要業績評価指標（KPI）として設定している。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>・着地型旅行商品「五島列島キリシタン物語」(旅行企画実施：新上五島町観光物産協会)の実施 ・宿泊施設等研修会 5回開催 延べ参加者数 150人 ・観光客満足度調査 サンプル数3,013人</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>「キリシタン物語」という着地型旅行商品を造成できたが、全体的な観光客の誘客については課題がある。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		

3-1-① にぎわいを生む観光の振興（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
5	<p>(事業名) 奈良尾イベント公園ステージ基礎改修事業</p> <p>【観光商工課】</p> <p>(事業目的) ・奈良尾イベント公園は地区のイベントや祭り等に利用されているが、完成から18年が経過し下部工（鋼管杭）の腐食が激しく、診断の結果、鋼管杭の残存寿命が0年に限りなく近いものと判断されたことから早急な対策が必要とされており、対策工を行うことにより基礎部の補強が行われステージ使用に伴う安全性の向上を目的とする。</p> <p>(事業概要) ステージ建物基礎部の基礎改修工事 基礎改修工事 下部工改修 1.0式 上部工改修 1.0式</p>	実施年度	平成27年度	
		成果指標	事業進捗率（％）	
		目標値	100%	
		実績値	100%	
		達成率	100%	
		決算（見込）額	6,198千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	事業が完了することにより次期計画について事業実施の必要性が図られるため、事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) ステージ建物基礎の改修、補強を実施し基礎の長寿命化を図ることにより建物利用における安全性の確保を行った。</p> <p>(成果・課題等) 基礎の長寿命化を図る当初の目的は達成したが、建物本体の老朽化も進んでおり今後、補修や改修などの検討を行う必要性がある。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		
6	<p>(事業名) 展望所等景観整備事業</p> <p>【観光商工課】</p> <p>(事業目的) 美しい自然や雄大な景観を観光資源として眺望するため、町民や観光客が何度も訪れたいような眺望スポット（展望所等）の整備を行い、自然景観ブランドとして位置づけるための事業。</p> <p>(事業概要) 条例で定めている観光公園において、眺望スポット（展望所等）の整備、駐車場や案内板、道路等の整備、眺望に配慮した木々の伐採などの景観整備を行う。 ・マリンピア展望公園 ・鯨見山展望所 ・城山展望所 ・矢堅目公園 ・観音岳公園 ・米山公園</p>	実施年度	平成27年度～	
		成果指標	観光スポット整備数	
		目標値	6ヶ所	
		実績値	1ヶ所	
		達成率	16.7%	
		決算（見込）額	151千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	観光公園で定めている展望スポット数を目標値としている。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 各施設の維持管理については、定期的に点検を行っている。今年度は米山展望所1ヶ所の草刈を行った。</p> <p>(成果・課題等) 雑草だけでなく雑木などの伐採も検討のうえ、役場関係課等と協議をしていきながら、取り組んでいく。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		

3-1-① にぎわいを生む観光の振興（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度		
7	<p>(事業名) 新上五島町観光物産協会補助事業</p> <p>【観光商工課】</p> <p>(事業目的) 本町の観光・物産業者の組織体制の基盤を強化し、本町を訪れる観光客に対して、満足度の高いサービスを提供できるよう、受入体制の整備充実を図る。また、島外からの観光客誘致を進めるとともに、新たな旅行商品の開発にも取り組むなど、観光物産の振興発展に中心的役割の充実を図る。</p> <p>(事業概要) 観光物産展の参加、島外への情報発信など、誘客活動を精力的に行った。探訪～四季を味わう上五島実行委員会主催のイベント等に事務局として積極的に参加し、町の観光物産振興事業に取り組んだ。また、着地型旅行商品の企画実施をはじめ、「五島神楽」、「漁師の朝飯」、ガイドの会のとりまとめ受付業務などにも取り組んでいる。</p>	実施年度	平成17年度～			
		成果指標	観光客延数（年間）			
		目標値	287,000人			
		実績値	273,545人			
		達成率	95.3%			
		決算（見込）額	16,826千円			
		当該年度執行率	100%			
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、本事業を含む観光振興事業を実施することで、観光客延数【年間】を242,078人（H26）から5年間で287,000人にすることを重要業績評価指標（KPI）として設定している。			
		取組実績、成果・課題等	(取組実績)	<p>①旅客ターミナル等で観光案内業務や物産販売などを実施（各港及び五島うどんの里等、5ヶ所設置）②個人観光客が参加できる着地型旅行商品「五島列島キリシタン物語～上五島編～」を企画実施（28名参加）③関係者と連携して、団体観光客向けに「五島神楽」や「漁師の朝飯」による観光客誘客に取り組んだ。（五島神楽 26件／654名。漁師の朝飯 91件／2,816名）</p>		(取組実績)
			(成果・課題等)	観光物産振興の発展に中心的役割を果たす観光物産協会と今後も情報共有を行い、連携を図りながら、世界遺産登録を見据えた受入体制の整備に努めている。		(成果・課題等)
8	<p>(事業名) しま共通地域通貨事業</p> <p>【観光商工課】</p> <p>(事業目的) 島外からの来島用のプレミアム付地域通貨を販売し、地域産業の活性化を図る。長崎県内の複数のしま共通で使えるプレミアム付き地域通貨を発行し、全国からの観光客やビジネス客をしまに誘致し、しまでの消費促進を図り、しまの地域経済を活性化する。また、しまが持つ特色や地域資源を全国に向けたPRすることで、交流人口の増加を通じて、しまの人口減少に歯止めを掛ける。</p> <p>(事業概要) しま共通地域通貨の販売。長崎県内離島において、共通で使用できる2割プレミアム付き商品券『しまとく通貨』を発行する。プレミアム付地域通貨の販売 販売所：6ヶ所(町内) プレミアム付地域通貨の利用 加盟店：110事業所(町内)</p>	実施年度	平成25年度～			
		成果指標	観光消費額（年間）			
		目標値	5,388百万円			
		実績値	4,741百万円			
		達成率	88.0%			
		決算（見込）額	75,434千円			
		当該年度執行率	100%			
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、本事業を含む観光振興事業を実施することで、観光消費額【年間】を4,560百万円（H26）から5年間で5,388百万円にすることを重要業績評価指標（KPI）として設定している。			
		取組実績、成果・課題等	(取組実績)	<p>新上五島町換金実績 4億6,364万5千円（県全体換金実績 41億9,067万3千円）</p>		(取組実績)
			(成果・課題等)	平成28年1月でしまとく通貨の発売は終了し、平成28年10月（一般販売は11月）から電子通貨として販売を開始する。来島者の利便性の向上及び取り扱い事務作業の簡素化ができるシステム構築する。		(成果・課題等)

3-1-① にぎわいを生む観光の振興（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度	
9	<p>(事業名) 島の宝を活用した魅力情報発信強化事業</p> <p>【文化財課】</p> <p>(事業目的) 世界遺産登録を控え来島者が年々増加している中で、海の玄関口である有川港ターミナル内の鯨賓館ミュージアムに新しい映像システムを構築し、インフォメーション機能の充実を図るとともに、町指定文化財や観光地が一目でわかる情報発信システムを構築する。また、町内の伝統芸能を保存・継承していくための伝統芸能大会の開催や島外でのイベントに積極的に参加することにより、島の魅力の情報発信を行う。</p> <p>(事業概要) 情報発信システムの強化と、新しい映像コンテンツの製作、伝統芸能の継承と情報発信により、島の魅力をより多くの訪問者に伝える。 ・映像システムの構築 ・映像ソフトの作成 ・郷土芸能大会の開催 ・文化財等の案内板設置 ・歴史文化ガイドブックの作成 ・町内文化遺産の企画展示</p>	実施年度	平成27年度～		
		成果指標	文化財の整備・保存件数（年間）		
		目標値	5件		
		実績値	3件		
		達成率	60%		
		決算（見込）額	1,998千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、文化財の整備・保存数【年間】を3件（H26）から5年間で5件にすることを重要業績評価指標（KPI）として設定している。		
		取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>・映像コンテンツに「上五島の観光地」及び「上五島の教会」を追加した。 ・老朽化し作動していなかった機器をタッチパネル化し、確実に作動するようにした。</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>エアサイネージ以外にもターミナルの空きスペースなどを活用し、展示品を充実するなど、更なる新上五島町の情報発信が必要ではないかと考える。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>	
10	<p>(事業名) 上五島カンコロ倶楽部推進事業</p> <p>【観光商工課】</p> <p>(事業目的) ふるさと応援団「上五島カンコロ倶楽部」は、本町に関する情報を発信し、本町の活性化を支援する方の輪を広げ、観光客の誘客と特産品のPRを図る事業であるが、更なる認知度向上と地場産業の振興強化を図る。</p> <p>(事業概要) 認知度の向上と地場産業の振興を強化していくため、頑張る生産者や事業者等と連携し、ふるさと応援寄附金と連動して一体となった情報発信を行っていく。 年部費 10,000円（7月以降入会は5,000円） 特典 特産品ギフト発送・町観光物産センター買物時プレゼント</p>	実施年度	平成25年度～		
		成果指標	倶楽部会員数		
		目標値	73名	88名	
		実績値	88名		
		達成率	120.5%		
		決算（見込）額	-		
		当該年度執行率	-		
		成果指標及び目標値の説明	上五島カンコロ倶楽部の会員数を確保し、本町の活性化を支援する方の輪を広げ、特産品のPRを図るため、前年度の会員数を目標値として設定している。		
		取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>88名の会員に、特産品詰め合わせを送付（年2回）した。 会員部費納入額 1,289千円 特産品商品額 1,289千円</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>ふるさと応援寄附金制度との差別化が難しくなっている。 事業の内容を整理する必要がある。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>	

3-1-① にぎわいを生む観光の振興（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度	
11	<p>(事業名) 観光物産大使事業 【観光商工課】</p> <p>(事業目的) 新上五島町にゆかりがあり、町外に居住する方で、本町の観光振興に寄与すると思われる方を観光物産大使と委嘱し、町の観光資源や魅力を様々な機会を通して発信していただくことで、自然豊かな自然環境や観光情報を広く紹介し、交流人口の拡大、観光振興とイメージアップを図る。</p> <p>(事業概要) 本町にゆかりのある文化人や芸能人を大使として任命し、大使の活躍するあらゆる機会を通じた紹介・宣伝のPR活動を行っていただく。 ・名刺や広報を含めた観光情報の送付 ・3年に1回更新</p>	実施年度	平成18年度～		
		成果指標	観光物産大使数（人）		
		目標値	47人		
		実績値	36人		
		達成率	76%		
		決算（見込）額	-		
		当該年度執行率	-		
		成果指標及び目標値の説明	観光物産大使の維持、増員を図っていくため、前年度の大使数を目標値として設定している。		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績)	36名の大使に名刺や広報を含めた観光情報を発送し、本町のPR活動を依頼した。更新により11名の減となった。	(取組実績)
			(成果・課題等)	大使の数を増やすことができなかった。これまで以上にPRを行い大使の数を増やしていく。また、『PR大使育成事業』とも連動しながら事業を進めていく。	(成果・課題等)

3-1-② 国際交流・地域間交流の推進

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度	
1	<p>(事業名) 首都圏大学生誘致事業 【総合政策課】</p> <p>(事業目的) 首都圏の大学生が地元の人では気づかない町の魅力を発掘し、その魅力を映像撮影、編集しネット配信することで新上五島町の認知度を上げる。また、各大学へPR活動を実施することで大学生の誘致につなげ、交流人口の拡大につなげる。</p> <p>(事業概要) 特に首都圏大学生をターゲットとし、大学生が大学生の目線で、大学生向けに本町の魅力を発信し、大学生の誘致につなげ、交流人口の拡大を図る。</p>	実施年度	平成27年度～		
		成果指標	観光客延宿泊者数（年間）		
		目標値	124,000人		
		実績値	119,637人		
		達成率	96.5%		
		決算（見込）額	1,635千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	交流人口の拡大により、宿泊客数が増えると想定し、観光客延宿泊者数を成果指標とした。なお、目標値については、総合計画上は90千人となっているが、総合戦略策定時に124千人としているため、それを適用している。		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績)	首都圏大学生による新上五島町の魅力発信（PR用チラシ・クリアファイル作成、PR用WEBサイト再構築、首都圏大学へのPR活動実施）	(取組実績)
			(成果・課題等)	大学生目線での大学生向け情報発信ができた。波及効果でサークル等の来島を期待していたが、実現に至らなかった。他の手法の検討が必要。	(成果・課題等)

3-1-② 国際交流・地域間交流の推進（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度	
2	<p>(事業名) 長崎県立大学との相互協定事業</p> <p>【総合政策課】</p> <p>(事業目的) 地域の様々な問題に対し、大学がもつノウハウを活用して、課題解決につなげる。また、事業をきっかけに交流人口の拡大につなげる。</p> <p>(事業概要) 本町が抱えている課題に対して、大学がもつノウハウを活用しながら課題解決に向けて取り組む事業。 H27年度は、次の3事業を実施。 ①住民の健康増進と生活習慣予防のための運動普及事業 ②人口減少対策に向けたガイドライン作成事業 ③町民が歩きたくなるウォーキングコースマップの作成事業</p>	実施年度	平成27年度～		
		成果指標	観光客延宿泊者数（年間）		
		目標値	124,000人		
		実績値	119,637人		
		達成率	96.5%		
		決算（見込）額	1,635千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	交流人口の拡大により、宿泊客数が増えると想定し、観光客延宿泊者数を成果指標とした。なお、目標値については、総合計画上は90千人となっているが、総合戦略策定時に124千人としているため、それを適用している。		
		取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>①働き盛り世代を対象とした運動教室を開催し、習慣化を図った。 ②町内イベント等で町民のヒアリング調査を実施。 ③ウォーキングマップ5コースを作成。 (成果・課題等)</p> <p>①生活習慣の改善に効果があったことから事業化する。 ②H28は住民が思うガイドラインの作成につなげる必要がある。 ③他課でもマップ作成を行っていることから、連携が必要。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>	
		3	<p>(事業名) 五島の日登録を契機とする交流推進事業</p> <p>【総合政策課】</p> <p>(事業目的) 合併10周年を記念して5月10日を「五島の日」に制定したことを契機に、町の魅力を広く町内外にPRし、交流人口の拡大を図る。</p> <p>(事業概要) 「五島の日」を契機とし、町内外に町の魅力を広くPRし、交流人口を拡大するイベントを開催する。 H27年度は、次の2事業を実施。 ①Sunset Live in KAMIGOTO（フラダンスやバンド演奏、花火打上など）開催 ②ざあーまに撮って上五島フォトコンテスト（H27.8.1～H28.2.29）開催</p>	実施年度	平成27年度～
成果指標	観光客延宿泊者数（年間）				
目標値	124,000人				
実績値	119,637人				
達成率	96.5%				
決算（見込）額	1,635千円				
当該年度執行率	100%				
成果指標及び目標値の説明	交流人口の拡大により、宿泊客数が増えると想定し、観光客延宿泊者数を成果指標とした。なお、目標値については、総合計画上は90千人となっているが、総合戦略策定時に124千人としているため、それを適用している。				
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>①来場者：550名 出演者：112名（内島外10名） ②応募数：157点（町内98点・町外59点） Facebook延20千人が閲覧 (成果・課題等)</p> <p>①来場者からスタッフまで含め、約700名の交流が図られた。 ②ふるさとの魅力を再発見することにつなげ、SNSにより全国に島の魅力を発信することができた。</p>			<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>	

3-1-② 国際交流・地域間交流の推進（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
4	<p>(事業名)</p> <p>510列島まつり運営負担金事業</p> <p>【観光商工課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>5月10日（510＝ごとう）にあわせ、五島市と新上五島町が連携し、五島の魅力（特産品、食、伝統芸能等）を長崎へ凝縮して持って行き、来場者の目・耳・胃袋に五島列島をアピールすることで、観光客の誘致と特産品販売につなげる。</p> <p>(事業概要)</p> <p>島外で、五島市と新上五島町の観光PRと特産品の販売及び郷土芸能を披露するなど、五島列島の魅力をアピールする。</p>	実施年度	平成25年度～	
		成果指標	イベント来場者数	
		目標値	25,000人	
		実績値	26,500人	
		達成率	106%	
		決算（見込）額	1,428千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	初回（H25年度）来場者数23,000人に、2,000人増の25,000人を来場者数目標25,000人（H26～H27）とした。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>・5月8日（金）～10日（日）の3日間で開催</p> <p>・夢彩都横おくんち広場</p> <p>・来場者数26,500人</p> <p>・特産品販売額14,525千円</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>イベント来場者数や特産品等販売額については、回を重ねるごとに増加しており、五島の魅力発信と特産品の売上増に繋がっている。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		
5	<p>(事業名)</p> <p>しまのキャンパス体験補助事業</p> <p>【観光商工課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>島外からの修学旅行や文化スポーツ合宿等は、本土からの高い運賃が主な阻害要因となり費用が高額となるため、本町では実施しにくい状況である。これらの助成措置として往復の運賃、宿泊費、体験学習料の一部を助成し、交流人口の拡大を図る。</p> <p>(事業概要)</p> <p>(1) 修学旅行推進事業 補助対象：小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び高等専門学校 補助金の額：修学旅行生1人あたり1泊目7,500円、2泊目以降は1人あたり2,500円を加算</p> <p>(2) 島外団体誘致推進事業 島外からの1泊以上の文化スポーツ合宿、スポーツ大会、交流試合、サークル活動等を実施する小・中・高校生及び大学生で構成する10人以上の団体、文化スポーツ合宿等を企画・実施する旅行会社 補助金の額：児童、生徒及び学生1人あたり2,000円</p>	実施年度	平成23年度～	
		成果指標	島外学生宿泊者数	
		目標値	1,000人	
		実績値	1,189人	
		達成率	118.9%	
		決算（見込）額	2,378千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	H26学生宿泊者数（補助対象者）886人を超える、1,000人を目標とした。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>島外からの文化スポーツ合宿等の団体 40団体に助成。 宿泊者実数1,189人 延宿泊人数2,246人</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>修学旅行の誘致には繋がらなかったが、文化スポーツ合宿等で目標以上に多くの学生に来島していただくことができたので、今後も継続して事業を推進する。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		

3-1-② 国際交流・地域間交流の推進（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
6	<p>(事業名) 外国人観光客誘致推進事業 【観光商工課】</p> <p>(事業目的) 海外からの交流人口拡大及び地域経済の活性化を図る。</p> <p>(事業概要) 5名以上の海外からの団体ツアー客で、新上五島町内の宿泊施設に宿泊した者1名につき3,000円を乗じた金額を、旅行会社または、ツアーオペレーターへ補助金として交付している。</p>	実施年度	平成24年度～	
		成果指標	外国人観光客	
		目標値	1,000人	2,000人
		実績値	1,112人	
		達成率	111%	
		決算（見込）額	2,700千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	平成25年度から平成26年度にかけて倍増しており、平成26年度実績543人のほぼ倍数の1,000人を目標とした。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 外国人観光客誘致推進事業補助金を交付。 交付件数31件 対象外国人観光客数900人</p> <p>(成果・課題等) 補助金の額は限られているので、補助金に変わる魅力を発信できればよいのだが、長崎県内はキリスト教関連遺産が多く、他地域との差別化が難しい現状がある。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		
7	<p>(事業名) 外国語指導助手招致事業 【学校教育課】</p> <p>(事業目的) 国際化社会に対応した教育の推進の一環として、外国語（英語）教育、英語活動の充実に資するとともに、国際理解教育の一層の推進を図ることを目的とする。</p> <p>(事業概要) 外国語指導助手（ALT）4人体制の下、各小中学校及び幼稚園へ派遣し、外国語（英語）教育、国際理解教育の充実に資する。</p>	実施年度	平成17年度～	
		成果指標	外国語指導助手（ALT）の人数	
		目標値	4人	
		実績値	4人	
		達成率	100%	
		決算（見込）額	18,905千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	各小中学校及び幼稚園へ派遣し、外国語（英語）教育、国際理解教育の充実に資するため、外国語指導助手（ALT）を4人を確保することを目標とした。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 外国語指導助手（ALT）4人を各小中学校及び幼稚園に派遣した。</p> <p>(成果・課題等) 外国語（英語）教育の推進、国際理解教育の充実に資することができた。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		

3-1-② 国際交流・地域間交流の推進（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度	
8	<p>(事業名)</p> <p>未来にはばたく海外研修補助事業</p> <p>【学校教育課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>グローバル化の進む国際社会において、国境を越えた国際交流は不可欠なものになりつつあり、日本人としての自覚を持ち主体的に生きていく上で必要な資質や能力の基礎を培い、国際理解教育を進めることは、非常に重要になっている。</p> <p>そこで、国政性豊かな人材の育成を目指して、海外研修を実施する。夏休みを利用して、町内の各中学校から選出した生徒の海外研修を行うことによって、国際理解教育の推進を図ることを目的とする。</p> <p>(事業概要)</p> <p>アジア圏で英語を公用語とするシンガポール共和国を訪問国に選び海外研修を実施し、学校交流など現地の人々とのコミュニケーションを体験することによって異国の文化や生活様式を学ぶ。</p>	実施年度	平成25年度～		
		成果指標	参加人数		
		目標値	8人		
		実績値	8人		
		達成率	100%		
		決算（見込）額	3,000千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	町内の各中学校から選出した生徒の海外研修を行うことによって、国際理解教育の推進を図ることを目的としているため、事業計画における参加者数を目標とした。		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績)	<p>8月2日から7日までの5泊6日 生徒8人、引率3人 事前研修会6回、事後研修会3回を実施し、海外研修後は参加生徒が所属する中学校において成果発表を行った。</p>	
			(成果・課題等)	<p>シンガポール共和国を訪問し、学校交流など現地の人々とのコミュニケーションを体験することによって異国の文化や生活様式を学んだ。本事業を実施することで、国際社会で活躍する人材を育てる外国語教育の推進が図られる。</p>	